

2022年1月17日 第405号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 「国会開会日行動」に 300 人

実効あるコロナ対策を行え！ 日米地位協定は抜本改正せよ！

改憲阻止の新署名をさらに強めよう！

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、9条改憲NO！全国市民アクション、共謀罪NO！実行委員会は1月17日昼、国会議員会館前で「改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！敵基地攻撃能力保有反対！防衛予算拡大するな！いのち暮らしと営業を守れ！1・17国会開会日行動」を行い、300人が参加しました。第208国会は6月15日までの会期です。岸田政権や日本維新の会などの改憲策動を止めるため、「憲法改悪を許さない全国署名」を軸に取り組みを強めて



いくことを確認しあう行動となりました。立憲民主党の石垣のり子参議院議員、沖縄の風の伊波洋一参議院議員、社会民主党の福島みずほ参議院議員、日本共産党の田村智子参議院議員があいさつしました。

戦争をさせない1000人委員会の勝島一博さんが主催者あいさつ。「米軍基地がコロナの感染拡大の感染源となっていることやPCR検査の不実施などが明らかになった。日本政府の危機感が欠如している。日米地位協定の抜本改正、実効あるコロナ対策を政府に求める。改憲派の議席が発議に必要な3分の2以上あったのに改憲発議を許さなかった私たちのたたかいを忘れてはいけない。自信と確信を持ち、改憲阻止の取り組みをさらに強めていこう」と呼びかけました。

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会首都圏グループの毛利孝雄さんは、「いま、名護市長選がたたかわれている。県知事選もある。沖縄の本土復帰50周年。沖縄との連帯をつくり直す年にしていこう」と訴えました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の飯島滋明名古屋学院大学教授は、「自公政権、維新の会、国民民主党は憲法を改正しようとしているが、これは国民のためにならない。改憲手続法もCM規制がなく、金で憲法改正を買うことになりかねない。国民は憲法改正を求めている。7月の参院選挙では改憲勢力を落とそう」と呼びかけました。

市民と野党をつなぐ会@東京の鈴木国夫さんは、「野党共闘は失敗だったと報道されているが、東京では大きな成果をあげている。市民運動が大きく前進した。みなさんも各地域で市民連合に参加していただきたい」と訴えました。

共謀罪 NO! 実行委員会の角田富夫さんは、「参院選につながる国会であり、モリ・カケ問題などもあったことから公文書管理徹底や情報公開、秘密保護法の廃止など求めている。JR東日本の顔認証カメラの導入には問題があり、国交省が全車両に監視カメラの設置を進めていることはプライバシーの侵害にあたり許せない」と指摘しました。

総がかり行動実行委員会共同代表(憲法9条を壊すな! 実行委員会)の高田健さんが行動提起を行い、「改憲勢力は憲法審査会を毎週開催し、憲法を早く変えようとしている。新たな署名が始まったが運動を強め、改憲阻止のたたかいを広げよう」と述べ、1月19日の「19日行動」への参加を呼びかけました。

●総がかり行動 ウィメンズアクション

総がかり行動実行委員会のウィメンズアクションが1月14日夜、有楽町イトシア前で行われ、冷たい強風が吹き荒れる中、26人が参加しました。日本共産党の田村智子参議院議員が訴えました。

全労連女性部の寺園通江事務局長は、「女性による女性のための相談会」について報告し、「憲法25条に基づき、社会保障をきちんと実現することは政治の責任だ」と強調しました。



当面の行動

- 1月19日(水) 総がかり行動 「19日行動」18時30分～ 国会議員会館前
- 1月20日(木) 総がかり行動 街頭宣伝 18時～ 新宿駅西口
- 1月23日(日) 総がかり行動 とめよう改憲!学習講演会 13時45分～ 日本教育会館ホール